

◎円借款の供与に関する日本国政府とマダガスカル共和国政府との間の交換公文

(略称) マダガスカルとの円借款取極

平成二十九年 三月二十一日 アンタナナリボで  
平成二十九年 三月二十一日 効力発生  
平成二十九年 四月 四日 告示

(外務省告示第二二〇号)

目 次

ページ

日本側書簡	六一五
1 円借款の供与	六一五
2 借款契約の締結及び借款の条件	六一五
3 借款の対象	六一六
4 生産物又は役務の調達	六一六
5 生産物の海上輸送及び海上保険	六一六
6 日本国民の入国及び滞在に対する便宜供与	六一六
7 借款、利子等の免税等	六一六
8 借款の適正使用等	六一七
9 計画の実施の進捗状況についての情報及び資料等の提供	六一七
10 協議	六一九
マダガスカル側書簡	
マダガスカルとの円借款取極	

(日本側書類)

(Japanese Note)

Antananarivo, March 21, 2017

(語文)

日本側書  
簡

円借款の  
供与  
借款契約の  
締結及  
条件借款

書簡をもって啓上いたします。本使は、マダガスカル共和国の経済の安定及び開発努力を促進するたるに供与される日本国との借款に関する日本国政府の代表者とマダガスカル共和国政府の代表者との間で最近到達した次の了解を確認する光榮を有します。

1. 四百五十一億四百万円（四五、一一四、〇〇〇、〇〇〇円）の額の円による借款（以下「借款」といふ。）が、トアマシナ港拡張計画（以下「計画」といふ。）を実施する目的を以て、独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」といふ。）による、日本国との関係法令に従ひて、マダガスカル共和国政府に供与されるることになる。

2. (1) 借款は、マダガスカル共和国政府とJICAとの間で締結される借款契約に基づいて使用に供与される。借款の条件及び使用に関する手続は、この了解の範囲内で、なんばく次の原則を含むことになる。前記の借款契約によつて規律される。

2. (1) The Loan will be made available by a loan agreement to be concluded between the Government of the Republic of Madagascar and JICA. The terms and conditions of the Loan as well as the procedures for its utilization will be governed by the said loan agreement, within the scope of the present understanding, which will contain, inter alia, the following principles:

- (a) 儿還期間は、十年の据置期間の後三十年とする。
  - (b) 利子率は、年〇・〇一ペーセントとする。
  - (c) 支出期間は、前記の借款契約の発効の日から十二年とする。
- (a) The repayment period will be thirty (30) years after the grace period of ten (10) years;
  - (b) The rate of interest will be nought point nought one per cent (0.01%) per annum; and
  - (c) The disbursement period will be twelve (12) years after the date of coming into force of the said loan agreement.

借款の対象	生産物又は役務の供給	生産物の輸送及び海上保険	日本国民の対外貿易	日本国民の税金等の免除
(2) (1)に規定する借款契約は、JICAが計画の実行可能性（環境に対する配慮を含む。）を確認した後に締結される。	(3) (1)(c)に規定する支出期間は、両政府の関係当局の同意を得て延長することができる。	3.(1) 借款は、マダガスカルの実施機関が調達適格国の供給者、請負業者又はロンサルタントに對して行う支払であつて、計画の実施に必要な生産物又は役務の購入のために両者の間で締結されるものであつて、約に基づいて行われるものと對象として使用に供される。ただし、当該購入は、調達適格国において、それらの国で生産される生産物又はそれらの国から供給される役務について行われる。	(2) (1)に規定する調達適格国の範囲は、両政府の関係当局間で合意される。	(3) 借款の一部は、計画の実施のため適格な現地通貨の需要に充てるために使用することができる。
(2) (1)に規定する調達適格国は、両政府の関係当局間で合意される。	(2) (1)に規定する調達適格国は、両政府の関係当局間で合意される。	4. マダガスカル共和国政府は、3.(1)に規定する生産物又は役務がJICAの調達のためのガイドライン（国際競争入札の手続が適用できない又は適当でない場合を除くほか、従つても国際競争入札の手続をなかんずく定める。）に従つて調達されるとを確保する。	(3) 借款の一部は、計画の実施のため適格な現地通貨の需要に充てるために使用することができる。	5. マダガスカル共和国政府は、借款に基づいて購入される生産物の海上輸送及び海上保険に関する、海上保険及び海上輸送の供給は、日本国民に便益をもたらすものとし、日本国民の税金等の免除を適用する。
(2) (1)に規定する調達適格国は、両政府の関係当局間で合意される。	(2) (1)に規定する調達適格国は、両政府の関係当局間で合意される。	6. 3.(1)に規定する生産物又は役務の供給に關連してマダガスカル共和国においてその役務が必要とされる日本国民は、作業の遂行のためマダガスカル共和国への入国及び同国における滞在に必要な便宜を与える。	(3) 借款の一部は、計画の実施のため適格な現地通貨の需要に充てるために使用することができる。	7. (1) マダガスカル共和国政府は、JICAについて、借款及びそれからの生ずる利息に対するJICAはそれらの税金等の免除を関連してマダガスカル共和国において課される全ての財政課徴金及び租税を免除する。

- (2) (1)に規定する借款契約は、JICAが計画の実行可能性（環境に対する配慮を含む。）を確認した後に締結される。
- (3) (1)(c)に規定する支出期間は、両政府の関係当局の同意を得て延長することができる。
- 3.(1) 借款は、マダガスカルの実施機関が調達適格国の供給者、請負業者又はロンサルタントに對して行う支払であつて、計画の実施に必要な生産物又は役務の購入のために両者の間で締結されるものであつて、約に基づいて行われるものと對象として使用に供される。ただし、当該購入は、調達適格国において、それらの国で生産される生産物又はそれらの国から供給される役務について行われる。
- (2) (1)に規定する調達適格国は、両政府の関係当局間で合意される。
- (3) 借款の一部は、計画の実施のため適格な現地通貨の需要に充てるために使用することができる。

- (2) The loan agreement mentioned in sub-paragraph (1) above will be concluded after JICA is satisfied with the feasibility of the Project, including environmental consideration.
- (3) The disbursement period mentioned in sub-paragraph (1)(c) above may be extended with the consent of the authorities concerned of the two Governments.
3. (1) The Loan will be made available to cover payments to be made by the Malagasy executing agency to suppliers, contractors and/or consultants of eligible source countries under such contracts as may be entered into between them for purchases of products and/or services required for the implementation of the Project, provided that such purchases are made in such eligible source countries for products produced in and/or services supplied from those countries.
- (2) The scope of eligible source countries mentioned in sub-paragraph (1) above shall be agreed upon between the authorities concerned of the two Governments.

- (3) A part of the Loan may be used to cover eligible local currency requirements for the implementation of the project.

4. The Government of the Republic of Madagascar shall ensure that the products and/or services mentioned in sub-paragraph (1) of paragraph 3 be procured in accordance with the guidelines for procurement of JICA, which set forth, inter alia, the procedures of international competitive bidding to be followed except where such procedures are inapplicable or inappropriate.
5. With regard to the shipping and marine insurance of the products purchased under the Loan, the Government of the Republic of Madagascar shall refrain from imposing any restrictions that may hinder fair and free competition among the shipping and marine insurance companies.

6. Japanese nationals whose services may be required in the Republic of Madagascar in connection with the supply of the products and/or services mentioned in sub-paragraph (1) of paragraph 3 shall be accorded such facilities as may be necessary for their entry into the Republic of Madagascar and stay therein for the performance of their work.
7. (1) The Government of the Republic of Madagascar shall (1) The Government of the Republic of Madagascar shall exempt JICA from all fiscal levies and taxes imposed in the Republic of Madagascar on and/or in connection with the Loan as well as interest accruing therefrom.

## 協議会

正借款の適用

(2) マダガスカル共和国政府は、計画の実施に必要な自己の資材及び設備の輸入及び再輸出に関し、供給

者、諸負業者又はコンサルタントとして活動する日本国の会社に対してマダガスカル共和国において課される全ての関税及び関連の財政課徴金を負担する。

8 マダガスカル共和国政府は、次のことのために必要な措置をとる

(a) 借款が適正に、かつ、専ら計画のために使用されることを確保すること。

(c) 借款に基づいて建設される施設がこの了解に定める目的のために適正に、かつ、効果的に維持され及び使用されることを確保すること。

（1） 仁義に基づく方言の変音と方言の併用に当たる、言語の多様性に留意して、大臣はノルマとして、和国の一般公衆の安全を確保し、及び維持すること。

マタガスカル共和国政府は、要請に応じ、日本国政府及 JICAに貸し、次のものを提供する。

(a) 計画の実施の進捗状況についての情報及び資料

(b) 計画に関連するその他の情報

兩政府は、この了解から、又はそれに関連して生ずることのあるいかなる事項についても相互に協議する。

本使は、更に、この書簡及び前記の了解をマダガスカル共和国政府に代わつて確認される閣下の返簡が両政府間の合意を構成し、その合意が閣下の返簡の日に効力を生ずるものとすることを提案する光榮を有します。

8. The Government of the Republic of Madagascar shall take necessary measures to:

(2) the Government of the Republic of Madagascar shall assume all duties and related fiscal charges imposed in the Republic of Madagascar on Japanese companies operating as suppliers, contractors and/or consultants with respect to the import and re-export of their own materials and equipment needed for the implementation of the Project..

- (a) ensure that the Loan be used properly and exclusively for the Project;
- (b) ensure and maintain the safety of persons engaged in the implementation of the Project and of the general public of the Republic of Madagascar in constructing the facilities under the Loan and in using such facilities; and

(c) ensure that the facilities constructed under the Loan be maintained and used properly and effectively for the purpose prescribed in the present understanding.

9. The Government of the Republic of Madagascar shall, upon request, furnish the Government of Japan and with: JICA

(a) information and data concerning the progress of the implementation of the Project; and

(a) any other individual who can receive.

10. The two Governments shall consult with each other with respect to any matter that may arise from or in connection with the present understanding.

I have further the honour to propose that this Note and Your Excellency's Note in reply confirming on behalf of the Government of the Republic of Madagascar the foregoing understanding shall constitute an agreement between the two Governments, which shall enter into force on the date of Your Excellency's Note in reply.

本使は、以上を申し進めるに際し、いよいよ重ねて閣下に向かひて敬意を表します。  
一九十七年三月二十一日アンタナナリボ

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

マダガスカル共和国駐在

日本国特命全権大使 小笠原一郎

(Signed) Ichiro Ogasawara  
Ambassador Extraordinary  
and Plenipotentiary of Japan  
to the Republic of Madagascar

マダガスカル共和国外務大臣

アタラ・ベアトリス・ジーン・アラム

Her Excellency  
Mrs. Atallah Beatrice Jeanine  
Minister of Foreign Affairs  
of the Republic of Madagascar

マダガスカル側書簡

(マダガスカル側書簡)

(Malagasy Note)

(訳文)

書簡をわへて賜上いたしました。本大臣は、本日付けの閣下の次の書簡を承領いたしましたを確認する光榮を有します。

(日本側書簡)

本大臣は、更に、前記の了解をマダガスカル共和国政府に代わって確認する所存なり、閣下の書簡及び、その返簡が両政府間の合意を構成し、その合意がいの返簡の日付の日に効力を生ずる所存なりと回覈する光榮を有します。

本大臣は、以上を申し進ぬる所存なり、何より重ねて閣下に向かへて敬意を表します。

一九十七年三月二十一日にアンタナナリボ

Excellency,

Antananarivo, March 21, 2017

I have the honour to acknowledge the receipt of Your Excellency's Note of today's date, which reads as follows:

“(Japanese Note)”

I have further the honour to confirm on behalf of the Government of the Republic of Madagascar the foregoing understanding and to agree that Your Excellency's Note and this Note in reply shall constitute an agreement between the two Governments, which shall enter into force on the date of this Note in reply.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

マダガスカル共和国外務大臣  
アタラ・マアトリス・シハリハ

(Signed) Atallah Beatrice Jeanine  
Minister of Foreign Affairs  
of the Republic of Madagascar

His Excellency  
Mr. Ichiro Ogasawara  
Ambassador Extraordinary  
and Plenipotentiary of Japan  
to the Republic of Madagascar

マダガスカル共和国駐在

日本国特命全権大使 小笠原一郎閣下

(参考)

この取極は、独立行政法人国際協力機構がマダガスカル政府に対し、四百五十二億千四百万円までの円借款を供与することについての両政府の了解を確認するものである。